

「福岡市動物愛護管理推進実施計画」の進捗状況について

凡例 ■ :新規 ■ :拡大 ■ :削除

施策名	項目		具体的施策		進捗管理	協議会での主な意見
	項目	分類	実施内容	実施内容		
1 動物愛護啓発推進	(1) 動物愛護思想の普及啓発	センター見学会	短期	見学希望者へのセンター施設開放	經常化	社会科見学のコースなどにできないか
		動物愛護週間行事	短期	動物園と連携した適正飼養に関するパネル展示等	經常化	
		民間企業での動物愛護研修	長期	民間企業の研修の一環としての動物愛護研修を検討	未着手	
		ホームページ	拡充	定期的な動物愛護思想の普及啓発に関する情報掲載	拡大	
		わんにゃんよかネット	拡充	マスコミ取材への積極的対応	拡大	
		マスメディアの活用	拡充	多くの市民が参加するよう、効果的なフェスティバルの実施内容の検討	拡大	
		動物愛護フェスティバル	拡充		拡大	
		シンポジウムの開催	拡充	市民と動物愛護思想について考える場の検討	拡大	非行少年の更生や精神的なサポートなどに何か役立てられないかと考えている。
		地域での動物愛護教室	拡充	地域の要望に応じた動物愛護教室の検討	拡大	
		学校教育への取組み	拡充	出前講座の充実 学校教育の中で、動物愛護について学べるプログラムの検討	經常化 未着手	
(2) ふれあい事業の充実	ふれあい事業の見直し	拡充	大猫の習性や適正飼養の理解など、事業目的に沿った実施方法への見直し	拡大	子供たちにとって動物とふれあい、動物の心理を思いやるような機会が減っているのではないかと考えている。	
			ふれあい事業の対象となる施設や年代の見直し	拡大		
2 適正飼養の推進	(1) 適正飼養の啓発	犬猫の適正飼養に関する講習会	短期	新規飼い主対象適正飼養講習会開催 既存飼い主対象しつけ方講習会開催	經常化	適正飼養だけでは言い表せないため、共生という言葉を入れるのはどうか。
		家庭犬のしつけ方講習会	短期	校区単位での定期的講習会開催	經常化	
		販売店での啓発	中期	ペットフード販売店等での啓発	新規	猫の飼養者との接点が持ちにくい。病院に連れて行かない人も多い。
		動物取扱業者による啓発指導	拡充	ペットショップへの適正飼養啓発チラシ設置	拡大	
		動物の適正飼養ガイドラインの策定	中期	集合住宅や都市部での飼養の際の取決めとしてのガイドライン策定の検討	未着手	国で指針をつくっているのにあえて福岡市でも作る必要があるのか
		犬のしつけ体験する場の拡充	中期	犬の訓練士などに犬のしつけに関する活動を行う場としてセンター敷地の提供の検討	未着手	
	(2) 不妊去勢手術の徹底	家庭犬のしつけ方相談	拡充	広報の充実と受講者拡充	拡大	室内犬が増えている。しつけのやり方や適正飼養の在り方も変わってきたのではないかと。
		広報媒体と方法	拡充	ホームページ、市政だより、チラシなどの配布・回覧等広報の充実	拡大	
		飼い主指導啓発	中期	自宅訪問などによる指導啓発方法の検討	未着手	犬と猫を分けて考えた方が良い、いかに外飼いの猫の手術を進めるかが重要ではないか。
		広報媒体と方法	拡充	ホームページ、SNS、動画サイト、市政だより、チラシなどの配布・回覧等広報の充実	拡大	
(3) 終生飼養推進のための方策	動物取扱業者による啓発指導	拡充	ペットショップへの「啓発チラシ」、動物病院「啓発」設置	完了		
	引取り時の指導啓発	短期	引取り時の有効な指導啓発方法の検討と指導啓発の強化	拡大	遺棄についての定義づけを含めて条例化などできないか。	
(4) 愛護動物遺棄防止対策の実施	飼育困難者の相談窓口	短期	動物愛護団体との共働で相談会を開催します	新規		
	飼い主の年齢等に合わせた指導啓発	中期	高齢の単身、家族構成、SNSなどに対応した取組指導啓発の強化	新規		
(5) 多頭飼養に対する監視指導	啓発指導の充実	短期	啓発の場所や季節性を考慮し、様々な媒体を使った啓発	新規	新聞の一面広告のようなもので広報できないか、法律的な文言ばかりでなく訴えかける表現が使えないか。	
	関係部署との連携	短期	公園管理、警察などと連携し情報共有や巡回を行う	新規		
	多頭飼養施設の監視指導	短期	多頭飼養施設の実態把握と定期的な監視指導実施	拡大	迷惑防止だけではなく、動物の福祉と言う意味でも指導が必要ではないか。	
	多頭飼養防止のための指導啓発	短期	多頭飼養による問題点や繁殖計画・飼養頭数管理の必要性の啓発指導	新規	飼い始める前の知識の不足があるのではないかと。	
	事例分析と監視指導への反映	中期	事例分析と監視指導への反映	新規	指導する場合は柔らかいアプローチが必要なのではないか	
	実態把握のための方策	短期	住宅管理、高齢者福祉、民生委員等との情報共有による早期発見	新規	多頭飼養削減を防ぐには何をすればいいかが重要である。	
(6) 苦情対応と動物飼養マナー向上	専門的な監視指導のための職員の育成	中期	精神科医や高齢者福祉などの各専門家による職員研修を行います	新規	多頭飼養者は収集癖があって手放さない傾向がある。生活空間がなくなるほど飼養していることがある。高齢者であることも多い。	
	苦情相談の分類と分析	短期	動物や動物飼養に関する相談や苦情を新しい尺度で分類し統計を取り	新規		
3 猫問題対策	(1) 飼い猫対策	散歩マナーの向上	短期	犬連れが多い公園や河川敷などで巡回を行い、定期的な指導啓発を行う	新規	
		普及啓発方法の検討	長期	地域活動と動物飼養マナーの融合させる方法を検討	新規	
		登録制度	長期	登録制度の効果や必要性を明確にした上で、制定に向けた検討	未実施	登録制度になれば飼っていない人にとってはうれしいことではないか。
	(2) 飼い主のいない猫対策	猫の飼い主への指導啓発	拡充	名札の装着や猫の室内飼いの有効性の周知 不妊去勢手術の徹底に関する指導啓発実施	拡大 拡大	
		地域ねこ事業	短期	市民へ正確な事業内容周知	拡大	地域猫のイメージが先行してエサだけをやることも地域猫と考えている人も多い。興味のない人が多い。
		地域猫活動への支援方法の検討	中期	地域猫活動の検証の実施	新規	個体数は餌の量に依存するので餌のコントロールが重要である。科学的に行わなければならないのではないかと。
		野良猫対策	中期	野良猫の無責任な給餌行為者への効果的指導啓発方法の検討	未実施	支援の継続が必要なのではないか。
	野良ネコの被害対策	中期	子猫を産み付けられないようなアドバイスの実施	新規	餌やりは飼い主ですと啓発はできないか。餌を与える人の心理を分析し指導に生かすことはできないか。	
	(終了) 効果的・効率的な猫の回収業務の確立	猫の回収業務	短期	成猫回収の原則中止 自活できない子猫のみ回収 回収条件である「布製の袋に入れたもの」の原則廃止 回収業務の必要性の検証と廃止の検討	完了 完了 完了 完了	
	4 譲渡と返還の推進	(1) 譲渡事業の充実	譲渡先への対応	短期	譲渡前調査(飼養施設等の訪問確認) 譲渡後調査(電話照会、飼養施設の訪問、書面による情報提供)	經常化 經常化
譲渡犬猫の管理			短期	譲渡犬猫の不妊去勢手術 譲渡犬猫への初回混合ワクチン接種	經常化 經常化	
譲渡犬猫の適正判断			中期	動物関係団体との協力による譲渡犬の適正判断の検討 飼養適性が低い犬の社会性の確保を目的とした動物関係団体への一時預けの検討	未着手 經常化	高齢犬などでも飼養に向いているものはいるのではないかと。飼育主の飼育方針が悪くしつけができていなかった犬猫を性格を理由に処分するのほどどうかとも思える。センターの環境は特殊である。適切な判断ができていないのか。
(2) マイクロチップ装着の推進		犬の飼い主がしつけの譲渡方法の確立	短期	「犬の飼い主がしつけの譲渡方法の確立」の策定と体制整備	完了	
		子猫の譲渡方法の確立	短期	「子猫の譲渡方法の確立」の策定と体制整備	完了	
		譲渡事業の広報	拡充	ホームページ、市政だより、チラシなどの配布・回覧等による譲渡事業広報の充実	新規	
譲渡猫へのマイクロチップ装着の推進	中期	譲渡猫へのマイクロチップ装着の検討	新規			
犬猫の所有者明示の必要性の啓発、マイクロチップ装着有用性の周知(飼い主指導やチラシ等の配布)	拡充	犬猫の所有者明示の必要性の啓発、マイクロチップ装着有用性の周知	拡大			
猫へのマイクロチップ装着費用の一部助成検討	拡充	猫へのマイクロチップ装着費用の一部助成検討	拡大			
収容犬猫その他の動物のマイクロチップ読み取り実施	拡充	収容犬猫その他の動物のマイクロチップ読み取り実施	拡大			
関係機関との連携	拡充	警察等との関係機関へのマイクロチップリーダーの設置促進	変更	警察に来る犬猫についてもマイクロチップによる確認をしてほしい。		

5	狂犬病予防	(3) 収容動物返還率向上のための 方策の検討	収容期間	拡充	収容期間の延長	完了	
			ホームページ わんにゃんよかネット	拡充	収容動物に関する情報内容の充実	拡充	HP伝わりにくくなった
				拡充	収容動物の情報公開期間の延長	完了	
				拡充	隣接地方公共団体と共通サイトの検討	変更	リンクが使いにくくなった。
			迷い犬猫の情報収集	拡充	センターに飼い主不明の犬猫やその情報が集約されていることの広報の充実	変更	保護したり、迷子になったらまずはセンターに連絡することができるように、センターは生かす場所であることを打ち出せないか。
			飼養動物の所有者明示	拡充	犬の鑑札及び注射済票、猫の名札、犬猫のマイクロチップの装着推進	拡充	警察に来る犬猫についてもマイクロチップによる確認が必要である。
			警察との連携強化	拡充	収容動物について最新の情報共有	拡充	県内で統一された迷子犬のサイトなどできないか
				拡充	マイクロチップリーダーの設置や首輪などの確かな技術的な協力体制を検討します。		
					狂犬病予防注射を受けられる動物病院のない地域に限定した集合注射を実施するため、近隣に動物病院が立地する集合注射会場の削減	集約	
					削減会場の周辺に居住する飼い主へ、集合注射会場での注射に代替する方法について情報提供	集約	
5	狂犬病予防	(1) 犬の登録率と狂犬病予防注射 実施率の向上	集合注射の在り方検討	中期	注射会場や実施方法を検討します		集合注射会場を減らしてきたところ、接種頭数が下がってきた。削減をいったん中止し推移を見守っている。
				短期	SNS等を利用した集合注射開催案内の実施	新規	
			犬鑑札・注射済票の交付	短期	犬鑑札・注射済票直接交付可能動物病院の拡充	未着手	
				中期	犬の購入時に登録が可能なペットショップの実現の検討	未着手	若い犬についても登録ができる方がよい。
			飼い主指導	中期	飼養施設の訪問による直接指導の検討	未着手	
				短期	未注射犬飼い主に対する再通知の拡大	新規	
				中期	電話や訪問等による飼い主情報の収集の検討	未着手	
			飼い主情報の把握	中期	動物病院や動物取扱業者等と連携した飼い主情報の収集方法の検討	未着手	
				長期	飼い主実態調査の効果的な方法の検討	未着手	
				短期	犬の転入手続き	未着手	
6	監視指導の強化	(1) 動物取扱業者の監視指導	犬の死亡手続き 指導啓発の充実	拡充	ドッグラン・公園・河川敷等における定期的な指導啓発実施	拡充	
				拡充	犬の飼養にかかわらず正しい狂犬病の知識を啓発実施	新規	「外に出さないから」「しつけて咬まないから」と言うことで注射しない飼い主もいる。人間のための法律であることを知らない人もいる。
			広報媒体と方法	拡充	ホームページ、市政だより、チラシなどの配布・回覧等広報の充実	拡充	
			動物取扱業者による指導啓発	拡充	動物取扱責任者研修会等による指導実施	拡充	ペットショップにポスターを張ったら、効果があった。
			飼い主指導	中期	飼養施設の訪問による直接指導の検討	未着手	
			啓発指導の充実	拡充	ドッグラン・公園・河川敷等における定期的な指導啓発実施	拡充	ドッグランが利用できないなどの門前払い型ではなく、つけておくことで何らかのメリットがある方がよいのではないかと。鑑札済票はもっと耐久性があるものがよい。
			広報媒体と方法	拡充	ホームページ、市政だより、チラシなどの配布・回覧等広報の充実	拡充	
			動物取扱業者による啓発指導	拡充	動物取扱責任者研修会等による法令順守について指導実施	拡充	
			鑑札・注射済票の形状変更	短期	「鑑札」「注射済票」のデザイン公募	完了	
					0		許認可制度にはできないのか。
6	監視指導の強化	(2) 特定動物飼養者の監視指導	動物取扱業者の登録	短期	未登録業者の掘り起こしと登録の徹底	未実施	
				短期	監視マニュアル策定	完了	
				短期	監視指導計画作成	完了	
				短期	「監視マニュアル」と「監視指導計画」に基づく監視指導実施	完了	
			動物取扱業者の監視指導	短期	重点監視施設の選定と監視指導の徹底	新規	販売業者も努力してきては上がっている。法改正などの締め付けが厳しいように感じる。子犬のうちから飼わなければ馴つかないと考える飼養者が多いのも事実。抜き打ち検査を実施した方がよいのではないかと。
				短期	第2種取扱業者の監視指導	新規	
			動物取扱責任者 動物取扱従事者の資質向上	短期	動物取扱責任者研修会の内容充実	拡充	
				中期	動物取扱従事者向けの研修会の検討	拡充	
			行政処分取扱要綱	短期	行政処分取扱要綱の策定	未実施	
			動物取扱業者間の連携	中期	ペット販売業者等業界団体の設立に向けた働きかけ	拡充	
7	体制と制度	(1) 関係部署や機関との連携	動物取扱業者の資質向上	中期	優良業者の認定制度の検討	未実施	優良施設で犬の登録などの手続きができるようにならないか。認定されることのメリットがあるか。消費者にとっての優良であることと動物愛護管理上の優良とが乖離している。
			特定動物飼養許可	短期	無許可飼養者の掘り起こしと許可取得の徹底	未実施	ペットショップなどで売るときに指導をしてもらわなければならない。繁殖したり、変更が生じたときの手続きをしない人がいるのではないかと。
			特定動物飼養施設の監視指導	短期	特定動物飼養施設の定期的な監視指導実施	拡充	
			監視との連携	短期	特定動物の格付情報に対する飼養者情報の照会	完了	
			特定動物逃走時の対策	中期	警察、消防、関係機関などと連携して取り組むため、逃走時の対応マニュアルの作成	未実施	
			大型犬飼養施設の監視指導	短期	アンケート調査などによる実態把握	拡充	対象犬種が適正であるか。ゴールデンレトリバーでも荒い犬はいる。
			警察との連携	短期	立ち入りなどの定期的な監視指導	拡充	
			捕獲作業	短期	休日、夜間等緊急時の連絡や対応体制の整備と捕獲作業の実施	未着手	
				中期	捕獲対象地域の分類と当該分類に基づいた捕獲方法の検討	?	
				中期	犬の適正な取扱いに留意した捕獲作業の実施と訓練	拡充	技術の継承が心配である。大型犬や荒い犬を取り扱える人が少ない。
7	体制と制度	(2) 動物愛護推進員の委嘱	実験動物飼養施設の監視指導	短期	実験動物飼養施設の実態把握	変更	
				中期	実験動物飼養施設の立ち入り指導	新規	立ち入り検査すべきであるとする。
			畜産経営農家の監視指導	短期	畜産経営農家の実態把握	変更	前時代的な去勢や断角などが行われていないか心配だ。
				中期	定期的な監視指導の検討	新規	
			子猫の殺処分方法の検討	中期	意識喪失効果のある麻酔薬を用いるなど、苦痛を与えない殺処分方法の検討	変更	イギリスなどでは作業者のメンタル面が問題となっていると聞いている。
			市の他部署との連携	短期	飼養困難者の早期発見のため、関連部署との情報共有を図ります	新規	
			関係機関との連携体制の強化と整備	中期	多頭飼養などの飼養継続が困難な市民が相談できるような体制を検討	新規	
				中期	警察等との動物虐待や遺棄の対応と防止について協議します	新規	
				中期	教育機関等での普及啓発やボランティア参加促進を進めます	新規	
				短期	収容犬猫や譲渡犬猫の情報共有の方法を検討します	新規	
8	危機管理対策	(1) 危機管理対策の実施	福岡県及び近隣自治体との連携	短期	まちづくり、福祉、医療、高齢者問題、住宅問題などの専門家による職員研修を実施し、資質向上を図ります	新規	
			動物愛護推進員の委嘱に向けた取組み	中期	行政との役割分担を行い、動物愛護推進員が担うべき役割を明確に位置付けた上での、委嘱に向けた検討	未着手	必要性が感じられなかったから委嘱していないのではないかと。市民が活動するには市からの委嘱を受けることでトラブルを避けられ動きやすいのではないかと。
			福岡市獣医師会との連携協力体制の強化	拡充	動物愛護と管理に関する役割を明確にし、福岡市獣医師会との連携協力体制の強化	拡充	協議会なども作っており連携を深めている。
			研修会・勉強会	拡充	定期的な研修会・勉強会開催	継続	
			活動の機会の提供	拡充	センターの業務等に参加するに当たってのルールづくり	拡充	
			動物愛護フェスティバル	拡充	「譲渡事業」「ふれあい事業」「犬猫の適正飼養講習会」等の共働実施	拡充	何をやるボランティアであるのか、参加することで何が有意義であるのかを知ってもらう必要がある。
				拡充	収容動物保護施設の清掃や給餌などボランティアの参加受入れ	拡充	知らない人も多い広報の仕方を考える。
				拡充	動物関係団体との協力体制強化と、より効果的な動物愛護フェスティバルの実施	拡充	
			畜行会の受入れ体制の整備	短期	動物愛護を目的とした事業の明確化と畜行会の受入れ体制の検討・実施	完了	
				短期	寄付金の基金化	新規	知らない人も多いので、広報を考えた方がよい。
8	危機管理対策	(1) 危機管理対策の実施	災害発生時の対応	短期	災害発生時対応マニュアルの策定	拡充	
				短期	「災害発生時対応マニュアル」に基づく被災動物の救護等	拡充	
			同行避難の周知	短期	愛玩動物同行避難の啓発	新規	
				中期	同行避難を想定してしつけ教室の実施	新規	
			所有者明示	中期	マイクロチップ装着推進・所有者明示	新規	
				短期	狂犬病発生時対応マニュアルの策定	拡充	
				短期	狂犬病が発生した場合を想定した演習の実施	未着手	
				短期	医療機関等との連携	未着手	
				中期	「狂犬病発生時対応マニュアル」に基づく狂犬病発生時の対応の実施	未着手	
				中期	狂犬病診断や検査体制についての検討	新規	